

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 魅力ある学校図書館とは (25分)</p> <p>子どもたちの読書離れが進んでいると言われていています。この読書離れは決して子どもだけに限りません。若者の読書離れという言葉は、1977年の東京新聞でとりあげられました。以来、今年で46年目。この状況がずっと続いています。ましてや現在ではSNSなどの普及により、その様相は更に深刻化していると言われていています。</p> <p>しかし、読書から得られる効果は計り知れません。会話力や文章力の向上、教養や知識の向上、想像力の向上、ストレス解消など、様々な利点があります。</p> <p>読書習慣を身に付けることが大切です。「NPO法人読書の時間」によると、読書は大切という認識はあるが、読書習慣が根付いていない現状があり、一か月の読書量では、全く読まないと答えた人が半数以上という調査結果が出ているとのこと。</p> <p>子どもたちがもっとも身近で本との出会いを作ることができる場所は学校図書館です。学校図書館が子どもたちの憩いの場になることで、子どもたちの読書離れにつなげていくことができれば、との考えから学校図書館について以下質問いたします。</p> <p>(1) 学校図書館の蔵書の整備状況について (2) 司書教諭や学校司書の配置状況について (3) 学校図書購入費について (4) 本の楽しさを伝える指導について (5) 心の保健室としての役割について</p>	市 長 教育委員会教育長
<p>2 子宮頸がん撲滅のために (15分)</p> <p>2023年6月、国立がん研究センターはHPVが引き起こす子宮頸がんの国内の現状や予防策をまとめた報告書を公表しました。報告書では、子宮頸がんの死亡率が減少傾向の諸外国に対し、国内では横ばいが続いているデータが紹介されていました。先進国では近い将来、子宮頸がん撲滅も可能だとの予測もあるようです。</p> <p>令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、それに伴</p>	市 長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>い、約9年間の勧奨差し控えの影響を受けた対象者も3年間の期間限定で、接種を受けられますが、令和6年度末までの時限措置になるため、接種忘れがないように対応する必要があります。また、子宮頸がん撲滅のためには、男性へのHPVワクチン接種も有効であるとも言われています。このような観点から以下質問いたします。</p> <p>(1) キャッチアップ接種対象者の接種率について</p> <p>(2) キャッチアップ接種対象者の接種率向上のための取組は。</p> <p>(3) 男性への接種に対する市の見解について</p>	